平成23年12月20日(火)に、佐伯河川国道事務所の工事受 注業者で構成された「東九州道(佐伯地区)工事連絡協議会」が 「子ども見守り隊」を発足させ、活動をスタートさせました。

この取り組みは、道路を造ることだけでなく、少しでも地域の 皆様の安全・安心まちづくりに役に立つことはないかと考え、佐 伯警察署ならびに佐伯市教育委員会とも相談のうえ、「子どもた ちの笑顔あふれる町」をスローガンに掲げ、活動するものです。 主な活動内容は、子どもたちへの声かけ運動や困った子どもの 一時的な保護などを行っています。



工事現場周辺には、下記のステッカーを貼った車がいますの で、困ったときは声を掛けて下さいね。

> 困ったときはこのステッカーを貼った車に 声をかけてね!



東九州道(佐伯地区)工事連絡協議会



東九州自動車道(佐伯~県境)に関連した、平成23年10月から12 月までの出来事は、下記のとおりです。

日付	内容
H23.10.18 (火)	佐伯市議会OB会が東九州道の進捗状況を視察。
H23.10.25 (火)	名護屋小学校の全児童も参加し、葛原トンネルの「貫通報告会」を開催。 …詳細は表紙に掲載
H23.11.1 (火)	あと50m!森崎トンネル南新設工事の安全祈願祭
H23.11.8 (火)	蒲江トンネルの工事着手にあたり、野々河内浦地区の住民の方へ工事説明会を開催。
H23.11.9 (水)	佐伯市赤十字奉仕団の皆さん(約25名)が工事現場見学。
H23.11.15 (火)	弥生高齢者教室「白養大学」の皆さん(73名)が、生涯学習として東九州道の現場見学。
H23.11.23 (水)	佐伯市青山市福所地区の地元住民と合同で造った見学所が完成!
H23.11.23 (水)	陣が峰トンネルを通って、宮崎県へ! 波当津浦地区の住民の方65名が参加し、工事現場見学会を開催。
H23.12.3 (±)	青山地区社会福祉協議会27名が参加し、「青山橋」の工事現場見学会を開催。
H23.12.9 (金)	蒲江〜県境間で最後の貫通! 森崎トンネルの貫通見学会&交流会を開催!
H23.12.20 (火)	「東九州道(佐伯地区)工事連絡協議会」が『子ども見守り隊』を発足、活動スタート! ···詳細はP.4に掲載
H23.12.26 (月)	「東九州道(蒲江地区)工事連絡協議会」における今年4回目の道路一斉清掃!

佐伯河川国道事務所では、工事現場見学会を随時受け付けております。 工事見学を希望される方は、下記へご連絡下さい。

> 【連絡先】 〒876-0813 大分県佐伯市長島町4丁目14-14 国土交通省九州地方整備局 佐伯河川国道事務所 調査第二課 又は 工務課

電話:0972-22-1880 ※また、事務所ホームページでも受付を行っています。

http://www.gsr.mlit.go.jp/saiki/kengaku/kengaku1.html

工事見学を 希望される方は 下記へご連絡 ください。

新直轄東九州自動車道(佐伯〜県境)

Vol. 9 平成24年

東九州自動車道は、北九州市を起点に大分県、宮崎県を経 て、鹿児島市に至る延長約436kmの高速自動車国道です。

このうち、第1回国土開発幹線自動車道建設会議(平成15 年12月開催)において、「蒲江IC~北川IC間」約26kmが国と 地方の負担による新直轄方式の整備区間に移行し、第2回 国土開発幹線自動車道建設会議(平成18年2月開催)によ り、「佐伯IC~蒲江IC間」約20kmが新たに新直轄事業区間* に選定されました。

※新直轄事業とは、料金収入で管理費が賄えない路線など整備が難 しいと見込まれる区間において、国と地方の負担で高速道路を整備す る新たな直轄方式です。通行料金は"無料"になります。

本路線の整備により、都市間の移動時間が大幅に短縮さ れ、高速交通体系の整備が遅れている東九州地区に高速交 通サービスをもたらし、地域の発展に大きく寄与することが 期待されます。

專業概要

路線名:東九州自動車道(佐伯~県境)

点:大分県佐伯市大字上岡

点:大分県佐伯市蒲江大字波当津浦

長:約30km 設計速度:80km/h 車線数:2車線

本誌は、佐伯IC~県境間の工事進捗状況やトピックス等をお知らせするものです。

国原トンネルの宣道部門

平成23年10月25日(火)、東九州自動車道「葛原トンネル(延長2,778m)」の貫通報告会 が、施工業者主催のもと開催されました。

西嶋泰義佐伯市長を始めとする御来賓の方々、地元関係者、行政担当者の見守る中、貫通発破 や清めの儀、通り初め等が行われました。

今回の報告会では、地元の名護屋小学校の全児童(43名)と先生方にも協力をいただき、貫 通発破、通り初め、こども神輿や鏡開きに参加してもらいました。特にこども神輿は、坑夫さん たちが担ぐ威勢の良さとは対照的に児童達の愛くるしい姿と掛け声で、会場はとても和やかな雰 囲気に包まれました。

最後に波当津浦区長、井上龍一郎様の「このトンネル、この東九州道を地域活性のために生か して行きたい」のご発声のもと、全員で万歳三唱を行い貫通報告会を終了致しました。





佐伯河川国道事務所

